



問 コミュニティバスの再編に向けて地域の意見を聞いているか

施政方針において、令和8年4月の津市コミュニティバスの次期再編に向けて、自由経路ミーティングポイント型と定路線型の運行を組み合わせたハイブリッド方式のデマンド型交通の構築を目指した実証実験を行うとあるが、いつから行うのか。また、現在の津市コミュニティバスに不都合があるのか、各地域の意見をしっかりと聞いているのか。

答 地域の意見をしっかりと受け止め、改善していく

デマンド型交通の構築に向けた実証実験については、令和6年秋頃の実施を予定している。

現在の津市コミュニティバスについては、路線を延長してほしいといった要望や、バス停まで歩くのがつらいといった意見があるため、デマンド型交通での運行を目指している。

現在、各地域で地域公共交通あり方検討会を開催しており、当該検討会で出た様々な意見をしっかりと受け止め、改善できる部分については改善していく。

その他の質疑・質問

- 議案第26号 令和5年度津市一般会計補正予算(第13号)
- 議案第38号 令和6年度津市一般会計予算
- 施政方針から
- 危機管理について
- 教育方針から
- 津市の出資団体、第三セクターについて など

▶
現在、定時定路線型で運行されている津市コミュニティバス



問 教職員の不祥事根絶に向けた取り組みは

子どもたちに行動の善悪を教え、人としての道を説く教職員には一般の市民以上により高い倫理観を持っていただきたいと思うことは、子どもを預ける保護者にとって当然の思いである。

しかしながら、現状は教職員としてあるまじき行為や考えられないような事件が、頻繁に報道されている。教職員の不祥事の根絶に向けた取り組みはなされているのか。

答 各学校において不祥事根絶に向けた研修を行っている

月1回行われる校長会において、県内で起こった事例を挙げながら、教職員の綱紀粛正および服務規律の確保に向けた取り組みを定期的を実施するよう指導している。また、各学校においても、学校長のリーダーシップの下、不祥事根絶に向けた研修を行っている。

特に教職員のコンプライアンス意識の向上に向けては、三重県教育委員会が策定したコンプライアンスハンドブックなどを活用し、服務研修会やコンプライアンスミーティングを行っている。また、職員会議や研修会だけでなく、あらゆる機会を通じて注意喚起を行っている。

その他の質疑・質問

- 本市の災害対策の現状と能登半島地震を踏まえた今後の対応について
- 要支援者への避難支援について
- 民生委員・児童委員の成り手不足について
- 教育現場の課題と教育の質を高めるための取り組みについて
- 小中学校におけるいじめの状況について など

▶
能登半島地震における津市職員による復旧支援の様子

